

水力発電所

愛媛県初の水力発電所は、松山市（石手川）にある旧湯山第一発電所（出力 260 キロワット）で、1903（明治 36）年に建設されました。この発電所は、当時としては世界最高水準の発電所だったそうです。

旧柳谷村では、1910（明治 43）年に黒川第一水力発電所が完成しました。その後、黒川第二水力発電所をはじめとして次々と建設されました。

急峻^{きゅうしゅん}な地形の広がる久万高原町は水力発電所建設に向いており、現在、愛媛県内にある 13 の水力発電所のうち、次の 7 つの発電所が久万高原町で稼働^{かう}しています。

第五黒川発電所（5, 500 kW）

小村発電所（3, 100 kW）

柳谷発電所（23, 800 kW）

黒藤川発電所（1, 900 kW）

面河第一発電所（7, 700 kW）

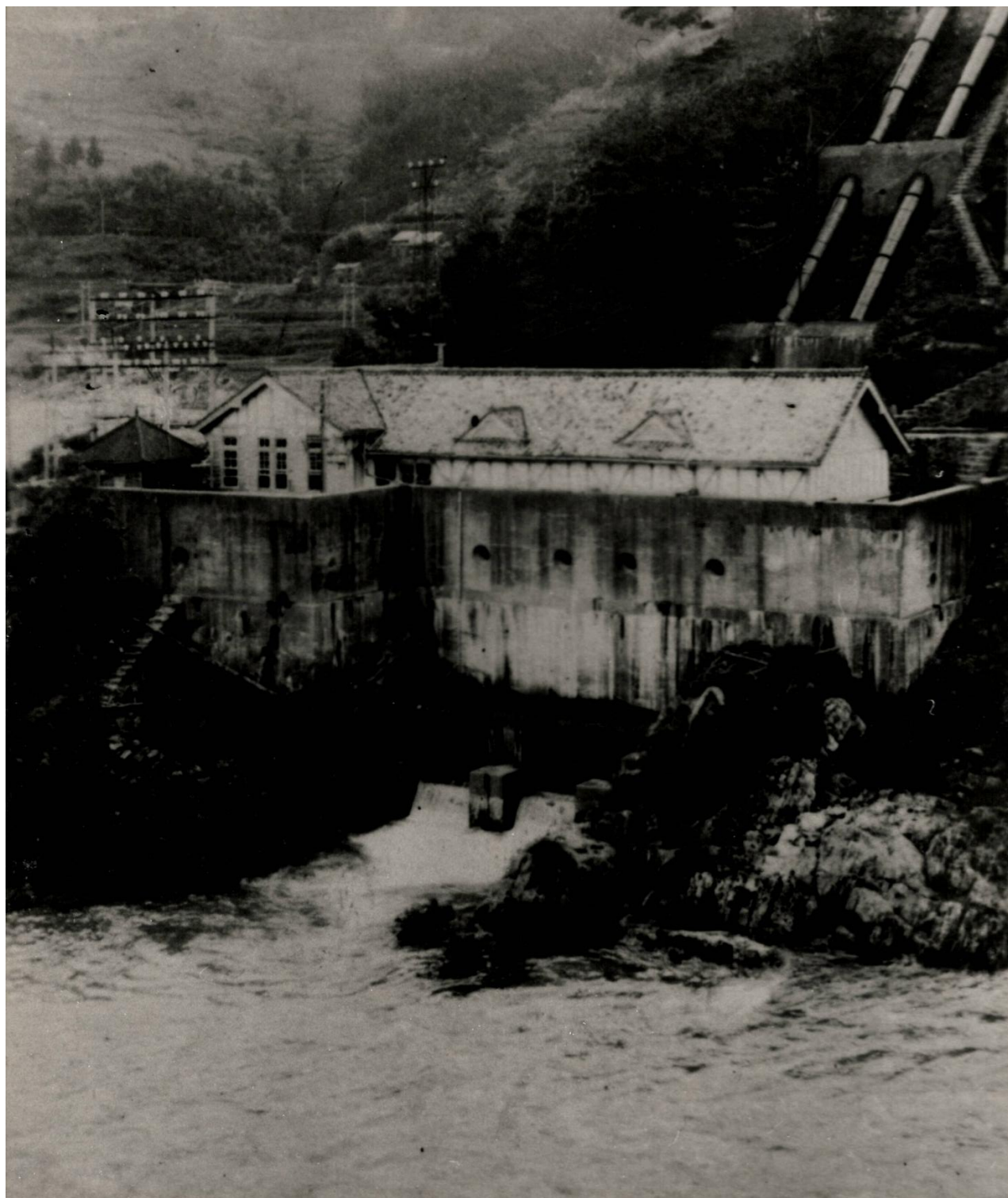
面河第二発電所（1, 600 kW）

面河第三発電所（22, 000 kW）

（四国電力のHPより）

ここでは、ご提供いただいた黒川第一水力発電所、黒川第二水力発電所、面河第三水力発電所関係の写真を紹介します。

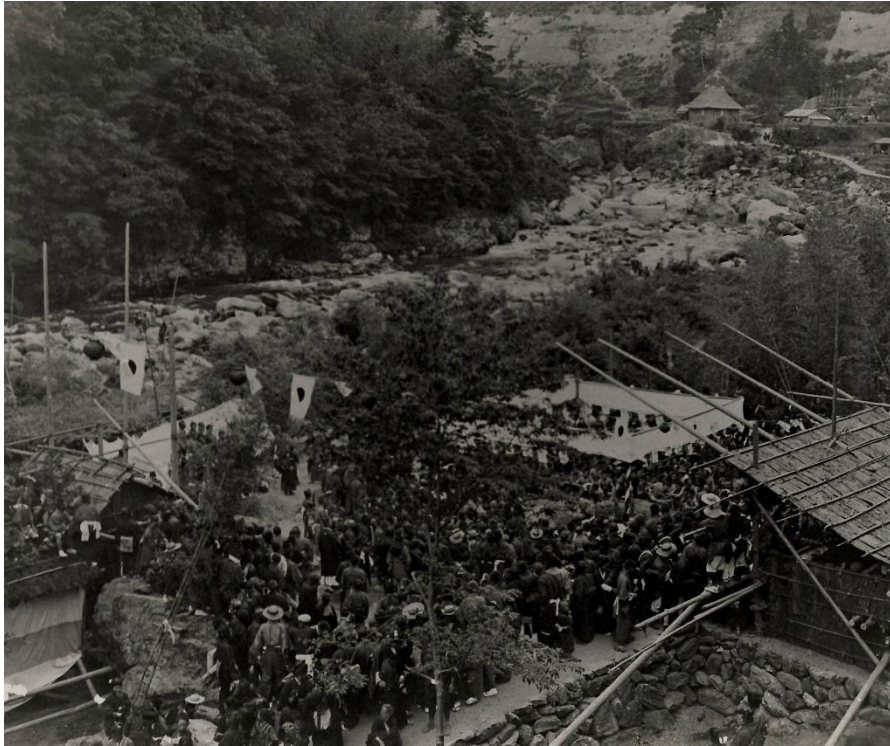
黒川第一発電所



1911（明治 44）年竣工 （最大出力 1 2 0 0 kW）

いそなる
磯が成（落出大橋近く）から発電所を撮影しています。

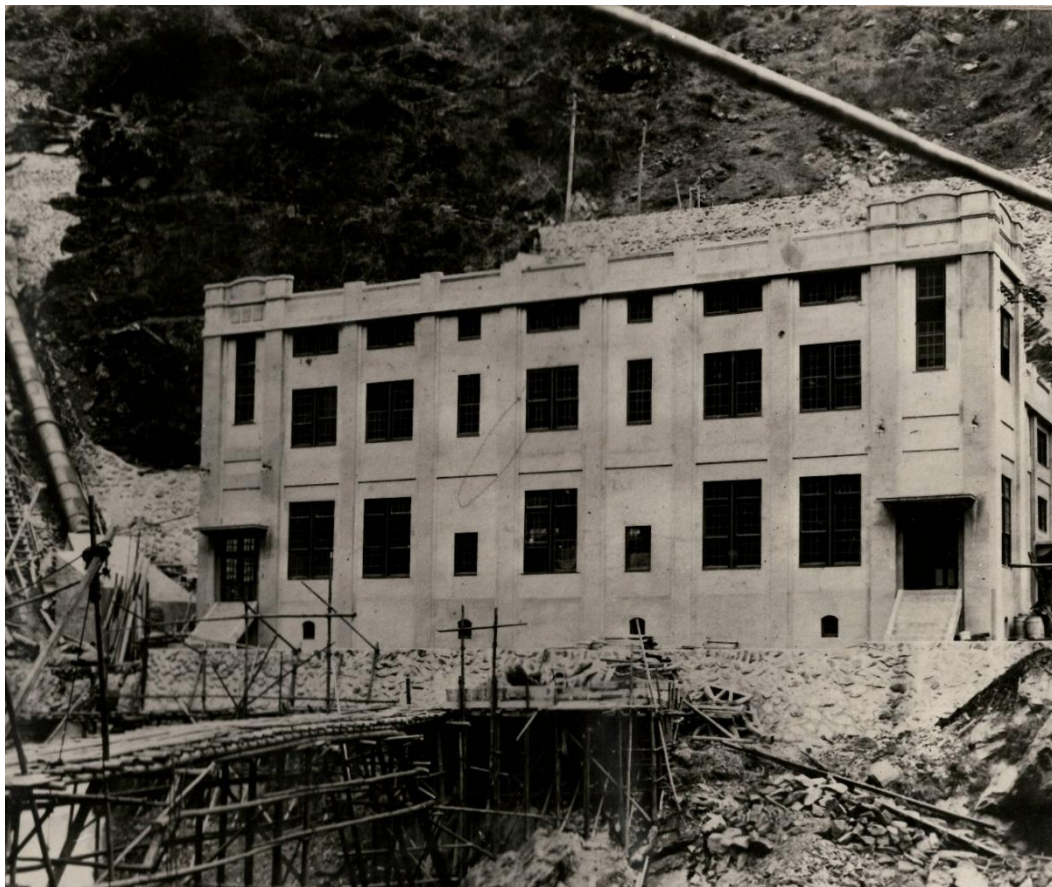
起工式式典



万国旗が掲げられ、盛大に餅まきが行われたようです



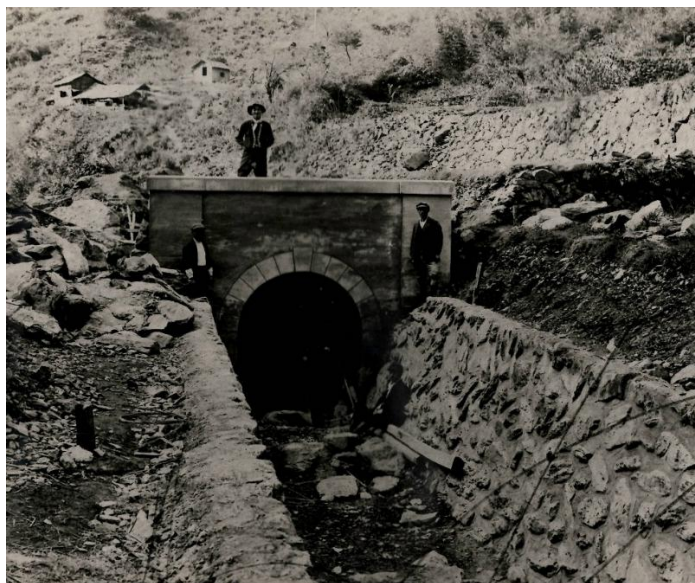
黒川第二発電所



ほぼ完成した頃（大正9年）

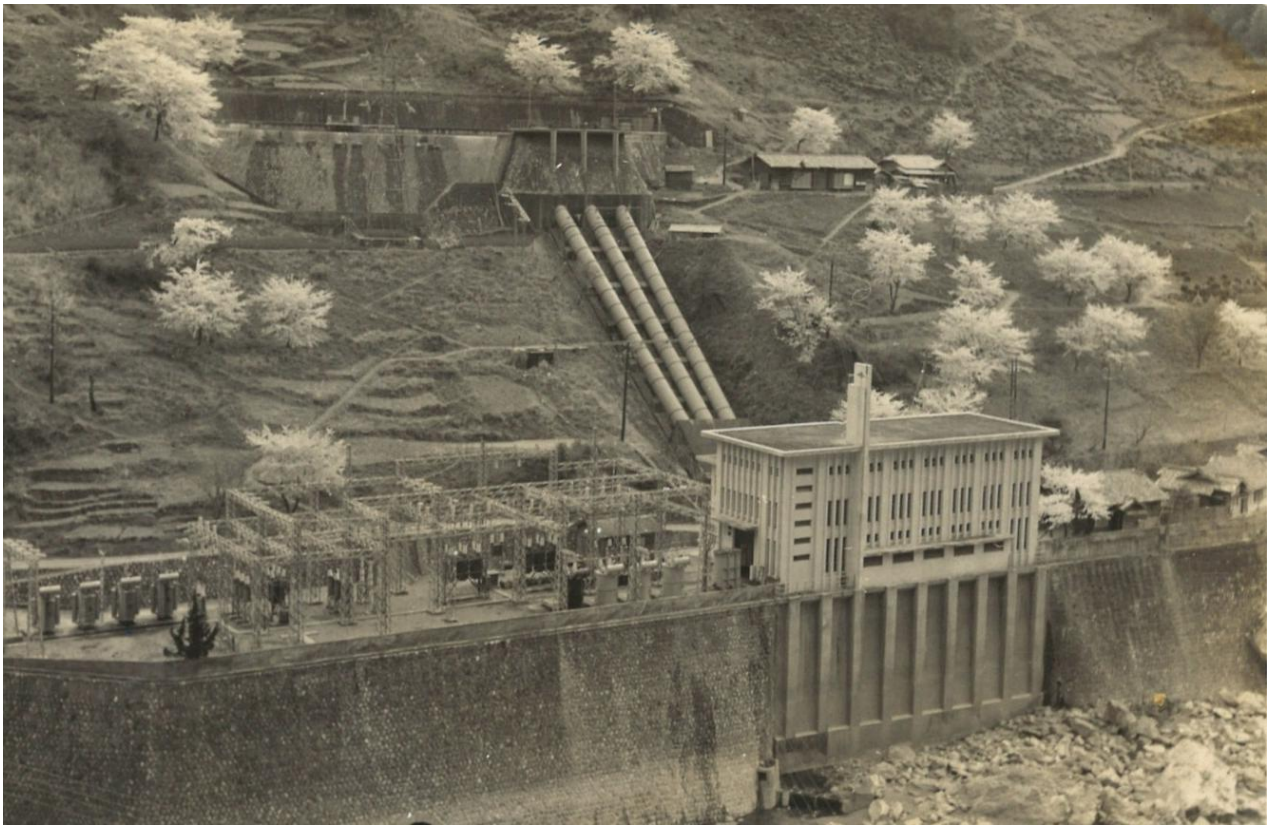


掘削する作業員



ほぼ完成した水路

面河第三発電所



面河川水系の電源開発

仁淀川の上流面河川水系には、昭和3年竣工の面河第一発電所（7000kW）をはじめ面河第二（1600kW）・第三発電所（7100kW）の三つの小規模な水路式発電所があった。

そのうち昭和12年に県境付近の仁淀川に建設された面河第三発電所は、昭和55年3月に下流に完成した大渡ダムの建設により水没のため廃止された。そこで代替りの新面河第三発電所が旧面三から約2.5 km上流の（旧）柳谷村旭地区に建設された。

（『愛媛県史』地誌Ⅱ（中予）を元に編集）

四国電力の社宅（黒藤川）での生活（昭和 30 年代）



運動するときの服装は、白いズボン（トレパン）、白いシャツ（トレシャツ）が定番でした。

社宅の運動会



社宅の子供たち



救命救急法の講習会



黒藤川小学校入学式

昭和 38（1963）年当時はこんなにたくさんの入学児童がいましたが、児童の減少により、平成 14（2002）年に閉校しました。